



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日

上場会社名 クリナップ株式会社  
 コード番号 7955 URL <http://cleanup.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部担当  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 井上 強一

(氏名) 田中 仁

TEL 03-3894-4771

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	76,222	△4.1	2,765	△31.2	2,583	△32.4	2,443	△21.4
23年3月期第3四半期	79,477	8.0	4,017	66.5	3,820	68.4	3,109	52.7

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 2,373百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 2,953百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	52.45	—
23年3月期第3四半期	66.33	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	85,679	53,850	62.9
23年3月期	75,146	51,942	69.1

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 53,850百万円 23年3月期 51,942百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	5.00	—		
24年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	102,500	1.6	2,100	△27.0	1,900	△26.6	1,800	600.1	38.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期の業績予想につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

#### (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	46,942,374 株	23年3月期	46,942,374 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	350,650 株	23年3月期	350,546 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	46,591,796 株	23年3月期3Q	46,877,937 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(7) 追加情報 .....	9
4. 補足情報 .....	10
生産、受注及び販売の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による企業活動の停滞や景気低迷から回復の兆しがみられたものの、デフレ経済や円高の長期化、さらに海外においては欧州債務危機による金融不安や新興国の成長鈍化など世界的な経済不安が重なり、依然として厳しい状況が続いております。

住宅設備機器業界におきましては、住宅ローン減税等の経済効果や震災復興需要等により緩やかな回復傾向が一部にみられるものの、新設住宅着工戸数は伸び悩み、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような中で当社グループは、平成23年6月に『ステンレスエコキャビネット』を標準装備してフルモデルチェンジしたシステムキッチン「クリンレディ」や、高級家具の雰囲気と普及価格帯に創出したシステムキッチン「ラクエラ」、 “まるごと保温” を標準装備したシステムバスルーム「h a i r o (はいろ)」等、付加価値の高い商品を市場に提供してまいりました。

販売面では、全国102ヶ所のショールームを活用した新商品フェアを実施し、当社の会員登録制組織「水まわり工房」加盟店との連携も深めながら、需要の獲得に努めてまいりました。

生産面では、引き続きV E活動を推進し、原価低減に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高を部門別にみますと、震災による受注停止の影響もあり、厨房部門では、システムキッチン「S. S.」は数量、金額とも3割超の減、「クリンレディ」は数量、金額とも1割増、「ラクエラ」は数量、金額とも増加となりました。この結果、厨房部門の売上高は前年同期比5.8%減の576億9千1百万円となりました。

浴槽・洗面部門では、システムバスルーム「アクリアバス」は数量、金額とも2ケタ減、「h a i r o (はいろ)」は数量、金額とも4割の大幅増、洗面化粧台は数量、金額とも減少となりました。この結果、浴槽・洗面部門の売上高は前年同期比1.0%増の149億7千2百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比4.1%減の762億2千2百万円となりました。利益面では経費の増加を抑制したものの、減収により営業利益は27億6千5百万円（前年同期比31.2%減）、経常利益は25億8千3百万円（同32.4%減）、四半期純利益は災害による損失があった一方、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から実施される法人税率変更に伴う法定実効税率及び繰延税金資産の回収可能性の見直しもあり、24億4千3百万円（同21.4%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は856億7千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ105億3千2百万円増加いたしました。流動資産は600億8千2百万円となり、102億2千2百万円増加いたしました。これは前連結会計年度末において、震災の影響により減少した受取手形及び売掛金が87億4千1百万円、未成工事在庫の積み上がり等により商品及び製品が17億4千2百万円増加したこと等によります。固定資産は255億9千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億9百万円増加いたしました。これは生産設備の増強、事業用不動産の購入等により有形固定資産が4億1千6百万円、繰延税金資産の計上等により投資その他の資産が2億5千7百万円増加した一方、減価償却等により無形固定資産が3億6千4百万円減少したこと等によります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は318億2千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ86億2千4百万円の増加となりました。流動負債は239億1千4百万円となり、69億2千万円増加いたしました。これは買掛金が33億5千9百万円、信託一括支払いが増加したこと等により未払金が19億2千1百万円、短期借入金が19億4千3百万円増加したこと等によります。固定負債は長期借入金が18億3千4百万円増加したこと等により、79億1千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億4百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は538億5千万円となり、前連結会計年度末に比べ19億7百万円増加いたしました。これは四半期純利益24億4千3百万円、配当金の支払い4億6千5百万円等によります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の69.1%から62.9%になりました。

#### (キャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ11億2千万円減少して246億7千8百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間において、営業活動の結果使用した資金は24億3千5百万円（前年同期は38億5千4百万円の獲得）となりました。これは税金等調整前四半期純利益が21億3千2百万円と前年同期比13億6千3百万円減益で、減価償却費21億1千8百万円、仕入債務の増加33億5千9百万円、未払金の増加20億1千3百万円があった一方、災害損失引当金の減少3億3千9百万円、賞与引当金の減少7億8千2百万円、売上債権の増加79億3千1百万円、たな卸資産の増加21億8千8百万円、法人税等の支払額3億4千9百万円があったこと等によるものです。

当第3四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は19億2千5百万円（前年同期比329.0%増）となりました。これは生産設備の増設及び改修、事業用不動産の取得等有形固定資産取得に伴う支出が15億2千4百万円、情報システム構築に伴う支出が2億7千3百万円、投資有価証券の取得に伴う支出が2億1百万円あったこと等によります。

当第3四半期連結累計期間における財務活動によって得られた資金は32億4千3百万円（前年同期は11億4千6百万円の使用）となりました。これは長期借入金の約定返済13億9百万円、配当金の支払いが4億6千6百万円あった一方、長期借入れによる収入が50億円あったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、住宅エコポイント制度の再導入や震災の復興需要により緩やかな回復が望めるものの、欧州財政不安や継続的な円高もあり、消費マインドは依然として低迷するものと思われま。また、新設住宅着工戸数も大きな伸びを期待できず、住宅設備機器業界を取り巻く環境は、先行きの不透明感が継続するものと思われま。

このような状況下、当社グループは『ステンレスエコキャビネット』を標準装備して新発売したシステムキッチン「クリンレディ」や、トータルコーディネートが可能なシステムキッチン「ラクエラ」及びシステムバスルーム「h a i r o（はいろ）」、平成24年3月に新発売する“あたたか・キレイ・安心”を極めたシステムバスルーム「アクリアバス」等を中心に売上拡大に努めてまいります。また、生産面での原価低減、コスト削減にも努めてまいります。

以上により、直近の経営環境を踏まえ、通期の連結業績予想につきましては、売上高1,025億円、営業利益21億円、経常利益19億円、当期純利益18億円に修正させていただきます。

なお、平成23年11月7日に公表いたしました通期の連結業績予想との差異は以下の通りです。

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	100,000	1,600	1,500	450	9.66
今回発表予想 (B)	102,500	2,100	1,900	1,800	38.63
増減額 (B-A)	2,500	500	400	1,350	—
増減率 (%)	2.5	31.3	26.7	300.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	100,851	2,876	2,590	257	5.49

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,786	22,165
受取手形及び売掛金	19,995	28,737
有価証券	2,012	2,712
商品及び製品	1,307	3,050
仕掛品	118	116
原材料及び貯蔵品	1,032	1,013
その他	1,638	2,333
貸倒引当金	△32	△46
流動資産合計	49,859	60,082
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,106	8,080
その他（純額）	9,934	10,376
有形固定資産合計	18,040	18,456
無形固定資産		
1,990	1,990	1,626
投資その他の資産		
投資有価証券	2,418	2,296
その他	2,926	3,334
貸倒引当金	△89	△118
投資その他の資産合計	5,255	5,513
固定資産合計	25,287	25,596
資産合計	75,146	85,679

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,782	7,141
短期借入金	2,371	4,314
未払金	8,121	10,043
未払法人税等	313	199
賞与引当金	1,081	299
災害損失引当金	448	108
資産除去債務	—	7
その他	875	1,800
流動負債合計	16,994	23,914
固定負債		
長期借入金	1,583	3,417
退職給付引当金	1,784	1,779
役員退職慰労引当金	424	424
資産除去債務	351	344
その他	2,065	1,947
固定負債合計	6,209	7,913
負債合計	23,203	31,828
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,267	13,267
資本剰余金	12,351	12,351
利益剰余金	26,453	28,431
自己株式	△224	△224
株主資本合計	51,848	53,825
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105	37
為替換算調整勘定	△10	△13
その他の包括利益累計額合計	94	24
純資産合計	51,942	53,850
負債純資産合計	75,146	85,679

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	79,477	76,222
売上原価	51,470	50,422
売上総利益	28,007	25,799
販売費及び一般管理費	23,989	23,034
営業利益	4,017	2,765
営業外収益		
受取利息	20	14
受取配当金	37	43
仕入割引	227	195
その他	123	127
営業外収益合計	409	379
営業外費用		
支払利息	50	59
売上割引	513	461
その他	42	40
営業外費用合計	605	561
経常利益	3,820	2,583
特別利益		
貸倒引当金戻入額	17	—
固定資産売却益	8	46
その他	0	0
特別利益合計	25	46
特別損失		
固定資産除売却損	23	37
投資有価証券評価損	24	3
退職特別加算金	2	18
減損損失	8	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	292	—
災害による損失	—	433
その他	0	0
特別損失合計	350	497
税金等調整前四半期純利益	3,496	2,132
法人税等	386	△311
少数株主損益調整前四半期純利益	3,109	2,443
四半期純利益	3,109	2,443

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,109	2,443
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△147	△67
為替換算調整勘定	△8	△2
その他の包括利益合計	△155	△70
四半期包括利益	2,953	2,373
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,953	2,373
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,496	2,132
減価償却費	2,165	2,118
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	292	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△784	△782
売上債権の増減額(△は増加)	△1,819	△7,931
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,988	△2,188
仕入債務の増減額(△は減少)	746	3,359
未払金の増減額(△は減少)	1,870	2,013
災害損失引当金の増減額(△は減少)	—	△339
災害損失	—	1,643
その他	245	△505
<b>小計</b>	<b>4,224</b>	<b>△480</b>
利息及び配当金の受取額	59	57
利息の支払額	△53	△62
災害損失の支払額	—	△1,599
法人税等の支払額	△375	△349
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,854</b>	<b>△2,435</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△242	△1,524
有形固定資産の売却による収入	269	61
無形固定資産の取得による支出	△311	△273
投資有価証券の取得による支出	△207	△201
その他	43	13
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△448</b>	<b>△1,925</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100	87
長期借入れによる収入	—	5,000
長期借入金の返済による支出	△726	△1,309
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△468	△466
その他	△50	△67
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,146</b>	<b>3,243</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,250	△1,120
現金及び現金同等物の期首残高	21,881	25,798
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,131	24,678

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）

当社及び連結子会社は、住宅及び店舗・事業所用設備機器関連事業とその他事業を行っておりますが、報告セグメントは単一セグメントであり、重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

（法人税率の変更等による影響）

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」

（平成23年法律第117号）が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、法定実効税率及び繰延税金資産の回収可能性を見直した結果、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）は594百万円増加し、法人税等調整額は594百万円減少しております。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

当第3四半期連結累計期間において、東日本大震災の影響により生産、受注及び販売実績が著しく減少したものは、次の通りであります。

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績を事業部門別に示すと次の通りであります。

事業部門の名称	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	前年同四半期比 (%)
厨房部門 (百万円)	33,423	△6.2
浴槽・洗面部門 (百万円)	12,817	△0.1
その他 (百万円)	901	△0.9
合計 (百万円)	47,142	△4.5

- (注) 1. 金額は平均販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 商品仕入実績

当第3四半期連結累計期間の商品仕入実績を事業部門別に示すと次の通りであります。

事業部門の名称	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	前年同四半期比 (%)
厨房部門 (百万円)	18,938	△4.4
浴槽・洗面部門 (百万円)	1,840	+4.2
その他 (百万円)	417	+0.9
合計 (百万円)	21,196	△3.6

- (注) 1. 金額は仕入価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注状況

当社及び連結子会社の受注生産品の売上高は、僅少でありますので記載を省略しております。

(4) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績を事業部門別に示すと次の通りであります。

事業部門の名称	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	前年同四半期比 (%)
厨房部門 (百万円)	57,691	△5.8
浴槽・洗面部門 (百万円)	14,972	+1.0
その他 (百万円)	3,558	+4.3
合計 (百万円)	76,222	△4.1

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。